

令和3年10月15日

同時発表：北海道・運輸航空記者クラブ、苫小牧市政記者クラブ

## 修学旅行に新たな学びのスタイルを提案します

～ 「フェリーの利用促進」「海事・物流産業の人材確保・育成」を目指して ～

北海道運輸局苫小牧海事事務所では、旅客フェリー事業の活性化と海事・物流産業の重要性等の理解醸成を図るため、10月30日（土）から11月1日（月）にかけて、中学校の先生と旅行会社を招請し、海事・物流施設見学等の学習プログラムを組み込んだ修学旅行体験会を開催します。

### 1. 背景

- 北海道内の中・長距離フェリーの旅客利用者数は、1994年をピークに減少し、新型コロナウイルス禍にあっては旅客利用者が激減している。
- 海事・物流産業にあっては、少子高齢化の中、人材確保・育成が重要な課題となっている。

### 2. 体験会の目的

- フェリーを利用する修学旅行の実用性のPRを北海道内の中学校をターゲットに行う。
- 提供する学習プログラムの内容やクオリティー等の検証を行い、フェリーを利用する修学旅行の誘客につながるよう取り組む。

### 3. スケジュール

実施日：令和3年10月30日（土）～11月1日（月）  
参加者：8名（教育関係者5名、旅行会社3名）  
行程：苫小牧～宮城県、岩手県 ※詳細は「別紙」参照。



乗船予定：太平洋フェリー「きたかみ」

#### ■主な学習プログラム

施設見学等：RORO船\*内、一般貨物船、物流倉庫内、内航コンテナ荷役、荷役機械乗車体験 など  
特別授業：講話「大阪府立大学名誉教授 池田良穂 氏、水先人、太平洋フェリー「きたかみ」船長」  
仕事のお話：タグボート、通関士、海運代理店業務 など \*RORO船：船の前後のランプウェイからトラックやトレーラー等によって直接貨物を積み卸すロールオン/ロールオフ方式の貨物船  
被災地訪問：東北大震災被災地を訪問し追体験等

### 4. 事業主体等

主催：北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所、太平洋フェリー(株)北海道支店  
協力：苫小牧栗林運輸(株)、苫小牧港開発(株)、協同組合苫小牧タグセンター、苫小牧地区倉庫協会、苫小牧水先区水先人会、ナラサキスタックス(株)、(株)フジトランスコーポレーション、北海道海事広報協会、室蘭地区トラック協会苫小牧支部（五十音順）

※取材を希望される場合は、前日の午前中までにご連絡をお願いします。  
新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用、手指消毒等の徹底をお願いします。  
【お問い合わせ先】 北海道運輸局 室蘭運輸支局 苫小牧海事事務所  
電話：0144-32-5901 担当：奥田、石岡

# TOTAL SCHEDULE

別紙

2021年10月30日(土)

2021年11月1日(月)

3 DAYS SCHEDULE

## 「フェリーを利用する修学旅行体験会」

国土交通省北海道運輸局苫小牧海事事務所

1日目	2日目	3日目
<b>10月30日(土)</b>	<b>10月31日(日)</b>	<b>11月1日(月)</b>
<p>10:00 オリエンテーション (苫小牧西港ターミナル)</p> <p>10:25 RORO船内見学 (自動車運搬船)</p> <p>11:15 一般貨物船見学 (鋼材船)</p> <p>11:35 物流倉庫見学</p> <p>12:35 昼食</p> <p>14:20 内航コンテナ見学、トラック 輸送見学、荷役機械乗車体験</p> <p>15:50 特別授業 ・水先人のお話 ・フェリー「きたかみ」船長のお話</p> <p>16:50 「船酔い防止」のお話 ・大阪府立大学 名誉教授 池田 良穂 氏</p> <p>17:10 フェリー荷役見学</p> <p>18:30 夕食 (船内レストラン)</p> <p>19:00 苫小牧港出港</p>  <p>※上記の他、移動バス車内において「海の仕事(タグボート業務、通関士業務)」の講話を実施</p>	<p>10:00 仙台港着</p>  <p>10:30 特別授業(講話) ・大阪府立大学 名誉教授 池田 良穂 氏</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:20 荒浜小学校 (震災遺構見学)</p> <p>15:00 松島見学 (瑞巖寺見学)</p> <p>17:00 女川町視察 (被災地見学)</p> <p>19:15 ホテル着</p>	<p>8:00 ホテル発</p> <p>10:00 平泉見学 (中尊寺、毛越寺) (昼食) (平泉文化遺産センター)</p> <p>17:05 仙台空港発</p>  <p>18:15 新千歳空港着 (一部解散)</p> <p>19:00 苫小牧西港ターミナル (解散)</p>

(※) 新型コロナウイルス感染症や気象状況により、「変更」「中止」となる場合があります。

### 北海道と国内各地の結びつきの学習

- 国内の港から（へ）貨物を運ぶ船などを見学し、北海道と国内各地との結びつきの理解を深めます。
- 参加者自身の日常生活と海事・物流産業の関わりを学びます。



自動車を運転したまま船内に積み込み、積卸し、国内の港から（へ）貨物を運ぶ船の内部の見学を実施



海上コンテナを積上げ、積卸しする荷役の見学、使用する荷役機械の乗車体験、コンテナの中身見学等を実施

### 生産と消費を結ぶ物流倉庫の役割の学習

- 倉庫に前後する貨物の輸送と併せて学ぶことで、モノの流れとこれら産業の役割や重要性について学び、海事・物流産業に対する理解を深めます。



どのようなモノがどのように保管されているか、保管されているモノが日常生活にどのように関わっているかを学ぶ倉庫施設見学を実施

### 海事産業関係者の講話による学習

- 私たちの生活と海事・物流産業との関わりや、これら産業の役割と重要性について学び、海事・物流産業に対する理解を深めます。



船を動かす船員の仕事、船が動くために必要なサポートの仕事（水先人、曳船の仕事）などの講話を実施



物流企業の社員から貨物の流れについての講話を実施

### 被災地での追体験による震災学習

- 自然災害や防災の取組の学びをベースに「いのち」の尊さ、人への思いやり、支えあうことの大切さを学びます。



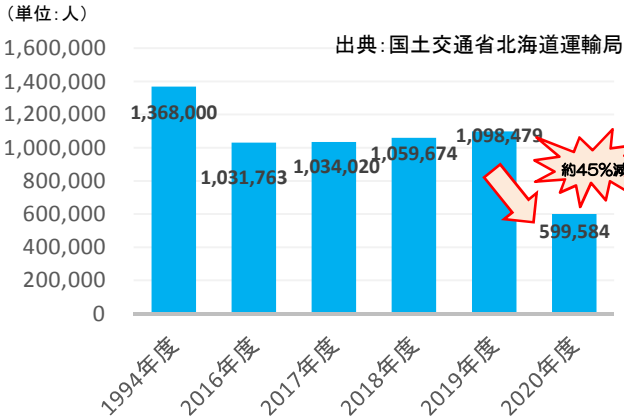
多くの犠牲者を出した大川小学校の様子を知る



語り部ガイドの案内により被災時の状況を知る

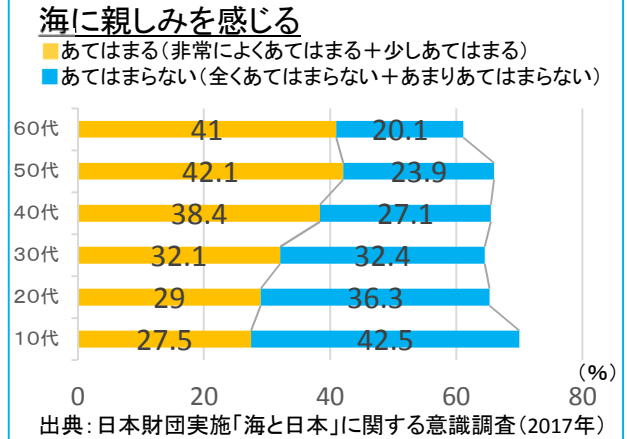
## フェリー旅客輸送実績

### 北海道内中・長距離フェリー



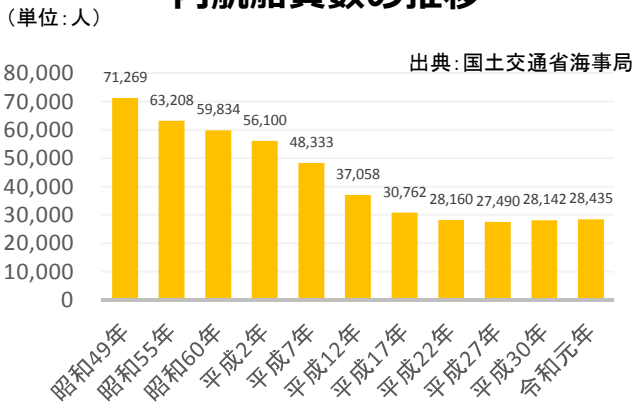
## 海への親近度

### 海への親近度

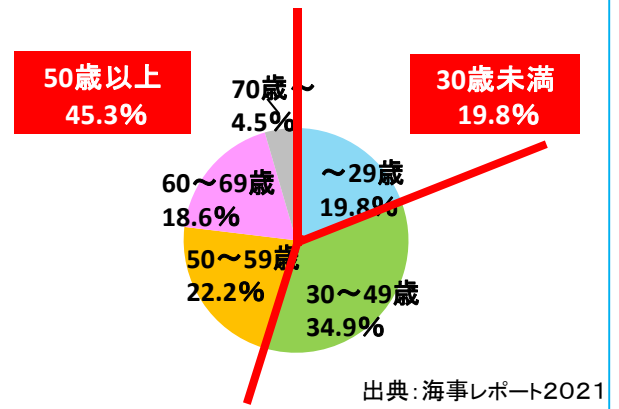


## 海事・物流産業の人材不足の状況

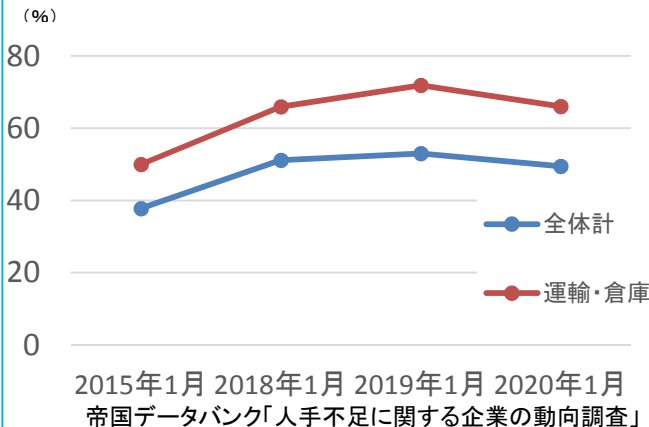
### 内航船員数の推移



### 内航船員の年齢構成 (2020年)



### 人材不足と回答した企業の割合 (全国)



### トラックドライバー不足と感じている企業

